

受検者名	緑 花子	性別	女性	年齢	26才
最終学歴	大学	卒業区分	既卒	文理区分	文系
学校名	エン・ジャパン大学				

性格・価値観分析

現代の会社や組織で求められる性格面や、キャリアに対して大切にしている価値観の診断結果です。

1. 性格特性

会社や組織における活動のベースとなる、性格・気質をみています。

項目名	偏差値	定義	各項目のレベル				
			2%	14%	68%	14%	2%
主体性	51	自ら積極的に責任を持って動く					
変革性	52	現状に満足せず、変化・変革を好む					
外向性	53	活動的に人と関わる					
持続性	50	粘り強くやり続ける					
協調性	40	周囲との調和を好む					

※ 注意すべき範囲(受検者の下位16%が入る範囲)

2. 創造的思考性

何かを創りあげる際の思考傾向をみています。新たな商品やサービスを創造するためには、拡散思考と収束思考の両方の思考が必要になります。

項目名	偏差値	定義	各項目のレベル				
			2%	14%	68%	14%	2%
発想性(拡散思考)	46	新しいアイデアを考えつき、拡散させる					
論理性(収束思考)	53	筋道立てて論理的に思考し、収束させる					

※ 注意すべき範囲(受検者の下位16%が入る範囲)

3. コミュニケーション力

会社や組織で円滑な人間関係を築くための基礎にあたる力をみています。

項目名	偏差値	定義	各項目のレベル				
			2%	14%	68%	14%	2%
意思伝達力	59	自分の考えをしっかりと伝えることができる					
論理的表現力	57	筋道立てて説明したり文章にできる					
好感表現力	44	感じの良さを意図的に表現できる					
対人調和力	41	相手の意図や感情を理解し、配慮できる					

※ 注意すべき範囲(受検者の下位16%が入る範囲)

4. エネルギー量

様々な活動を支える基礎的なパワーをみています。社会が豊かになると低下傾向になります。

項目名	偏差値	定義	各項目のレベル				
			2%	14%	68%	14%	2%
行動性	50	考えるよりも行動が先					
競争性	49	相手に勝つことにこだわる					
野心性	50	成りあがるうとする気持ちは強い					
決断性	55	決断が速い					

※ 注意すべき範囲(受検者の下位16%が入る範囲)

5. ストレス耐性

各種のストレス(刺激によって引き起こされる緊張)に対して、どの程度耐える特性を持っているかをみています。

種類	得点	耐性がある→				状態
		←耐性がない	20	40	60	
人付き合い	51					問題なし
仕事の負荷量	49					やや注意
理想と現実とのギャップ	58					問題なし
評価・評判	44					要注意

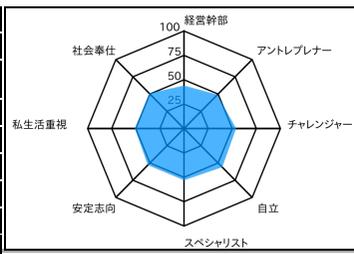
問題なし	やや注意	要注意
★		

【問題なし】…業務遂行において問題のないレベルです。
 【やや注意】…ストレスによっては注意が必要なレベルです
 【要注意】…ケアが必要となるレベルです。

6. キャリアタイプ指向性

仕事に対する価値観をみています。一般の社会人は体験を元に形成されますが、学生・第二新卒の場合は希望・願望を表しています。

タイプ名	得点	特徴
経営幹部	44	様々な人の力を結集して成果を生み出し、組織の期待に応える
アントレプレナー	49	自らの力で障害を乗り越え、何か新しいものを創り出す
チャレンジャー	54	困難と思える問題の解決や手ごわい相手に打ち勝とうとする
自立	56	組織のルールに縛られず、自分のやり方で仕事を進める
スペシャリスト	53	特定の分野内で自分の能力や技術を磨き、自分らしさを確立する
安定志向	53	組織内で、安定したキャリアや処遇を好む
私生活重視	51	仕事よりも、プライベートの充実を目指す
社会奉仕	51	自分の求める社会の実現や他者の救済に役立つことに関わる



7. 職務適性

同職種における職務内容が多様化していることから、従来の職務適性ではなく職務適性をみています。

職務	適性レベル			職務	適性レベル		
	低		高		低		高
多くの人と接し、サービスする				知識を深め、探究していく			
他者と連携・協調していく				自分の判断で自律的に進める			
専門性を身につけ、活かす				基本に従って典型的に進める			
正確かつ着実に進める				迅速に判断して進める			
新しいアイデアを生み出す				合理的に物事を進める			

8. 総合特徴

性格特性、創造的思考性、コミュニケーション力、エネルギー量、ストレス耐性、キャリアタイプ指向性の診断結果の特徴をコメントにまとめています。

多くの人や新しい情報に積極的に関与しながら周囲をリードし、巻き込んでいく姿勢を持った、社交的なタイプである。また、変化・変革を前向きに捉える姿勢もみられる。一方で相手に合わせたり、周囲に配慮することよりは、ひとりで行動しようとする傾向もみられる。

創造的思考性においては、事実をもとに客観的に全体をみつめ、整理しながら正確に物事を進めていこうとする姿勢がみられる。コミュニケーションにおいては自分の考えをしっかりと理解させていく姿勢がみられ、相手に合わせ、考えや意図を的確に伝えていこうとする。ただ、相手を尊重するために、相手の気持ちや感情を正しく感じ取ったり、要望や期待を受け入れていくことはやや苦手なようである。

決断力が高く、自分の判断に迷いを持たずに即決するような、思い切りの良さがみられる。その一方、上昇志向がやや低く、競争心を持って取り組む傾向はあまり感じられない。

理想と現実とのギャップに対するストレス耐性はやや高く、自分の描いていたものと現実との差が大きくとも、あまりストレスを感じることなく、仕事に取り組むことができる。ただ、評価・評判に対するストレス耐性がやや弱く、他者から自分がどのように評価されているかが気になってしまい、ストレスをためやすい傾向にある。

キャリアについては、組織のルールや規則、指示や命令に必要以上に縛られるのではなく、ある程度は自分で決め、裁量をもって進めていくことを指向している。一方、自らが中心となって、様々な人の力を結集して成長を生み出していくことをあまり指向していない。

9. 注意すべき点

回答結果の信憑性について、「一貫性」、「虚偽性」の2つの観点でみています。

一貫性			虚偽性		
問題なし	やや欠ける	欠ける	問題なし	やや高い	高い
★			★		

「一貫性」は受検者の回答結果の矛盾を確認しています。一貫性に欠ける場合は、真剣に回答していない可能性が高く、注意が必要です。

「虚偽性」は受検者の回答結果から虚偽の傾向を確認しています。虚偽性が高い場合は、自分を良く見せようとする意識が強く、注意が必要です。

知的能力分析

学校名や入試偏差値に依存しない、会社や組織で求められる基礎的な知的能力の診断結果です。

● 総合評価

9

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	総合評価
3.6%	4.5%	7.8%	11.6%	14.6%	15.8%	14.6%	11.6%	7.8%	4.5%	3.6%	出現率
100%	96.4%	91.9%	84.1%	72.5%	57.9%	42.1%	27.5%	15.9%	8.1%	3.6%	累積出現率

※上の図は、総合評価の値が平均的水準「5」から離れるほど、評価段階ごとの出現率が低くなることを表しています。(新規大卒者平均は「6」)

● 系統別集計

基礎系	9	定型業務の遂行能力
記憶力	9	記憶、転記、及びすべての知能作業の基礎となる能力
言語力	8	単語の判別力と、語彙の豊かさを表す能力
計算力	10	基礎的な計算を早く正確に行う能力

応用系	9	非定型業務の遂行能力
計算応用力	9	数理的な分野で事象から仮説を立てる能力
直観力	9	物事を空間的に把握する能力
言語応用力	9	語彙の豊富さと、並行して思考を切り替えられる能力
推理力	10	数的思考の発想力と適切に情報を処理する能力

memo